

# モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

## 3 月 3 日(木曜日)春うらら・境界線をぶ～らぶら

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 10 名】



万物を成長させる恵みの風を恵風というそうだ。時おり吹く恵風を感じ、穏やかな春の日差しの中、境界線巡りを行った。年 1 回のモリメイト恒例のハイキングである。



10 時出発。サブコテージの駐車場奥の階段を上り尾根伝いに歩いた。荒れた道を歩きやすくするために倒木やはびこっている蔓を取り除きながら進んでいった。途中、生い茂る笹の中で道を見失ったが芝田香象さんの先導で道が見つかり前へ進むことができた。

西の端の境界線を通り無事モリメイトフィールドに 12 時前に到着することができた。今年は荒れているところも少なく探検気分の楽しい境界線巡りであった。

午後からはビジターコテージ周辺の枯れマツ 5 本を除伐。

## 3 月 10 日(木曜日)もうすぐ花菖蒲の芽が顔を出します

【参加者:池本幸、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明 計 8 名】

3 月 6 日は啓蟄、寒さに耐えていた昆虫や蛇やカエルなどが、土に届いた暖かい気配を感じて穴の中から這い出してくる頃であり、地面からも土を押し上げて草の芽が顔を出す時期である。

そろそろ花菖蒲の小さな芽も土を押し上げ顔を出すであろう。そこで、伸び放題で枯れたままになっていた花菖蒲園の草を刈ることにした。刈払機でざっと刈った後、手鎌で花菖蒲の芽吹きを確かめながら丁寧に刈っていった。周辺の立ち枯れた草も刈ったので、ゆっくりとモリメイトフィールドも春の色に変わっていくことになる。

午後からは、7 番東屋と 8 番東屋の間の通行止めになっている橋の状況を見に行った

その後、枯れマツ 3 本除伐。枯れマツの状況を見て回り、今日の活動を終えた。



## 3月17日(木曜日) 枯れマツ除伐・花壇に花苗

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明 9名】



午前中は、モリメイト花壇の草を引き、腐葉土を入れ、花の苗を植えた。何を植えても鹿に食べられてしまうので、植える時期、植える植物を工夫せざるをえない。鹿にとって食べ物が少なくなる冬の間、宿根草は地面から消えてしまうので春から芽を出し成長しても食べられることが少なくすみ、スイセンは冬から春にかけて咲くが、毒をもつため鹿には食べられにくい。そこで、スイセンと宿根草を植えることにしている。



今回は、モリメイトが家から持ってきたホトトギス、宿根サクラソウの苗を50株ほど花壇の空いているところに植えた。

其の後、サブコテージ周辺の枯れマツ10本を除伐。傾斜地で足元の不安定なところであったので、安



全には十分気をつけて行った。

午後からはサブコテージの前に置いていた除伐した枯れマツの残材を軽トラで運び出した。

### モリメイト会議

- ・森のオリエンテーリングは取りやめる
- ・モリメイトフィールド内の軽トラ橋の修理をしていく

## 3月24日(木曜日)春の小川がさらさら流れ出しました

【参加者:池本幸、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、 8名】



モリメイトフィールド内の小川にもメダカが顔を出し始めた。より住み心地がよくなるようにと、流れを悪くしていた枯れ葉や枯れ枝、溜まった砂を取り除いた。小川はさらさら流れ出し、メダカも気持ちよさそう。花菖蒲園の水路も土をさらってきれいにしたので流れがスムーズになり音を立てて水が流れるようになった。水路にはカエルの卵が春の日差しを浴びながらゆらゆら。オタマジャク



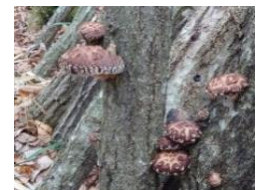
シになる日も間近である。陽だまりでは可愛いハルリンドウの花が咲き始めた。

## 3月31日(木曜日) シイタケがいっぱい

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計10名】

小雨の中10名のモリメイトが集まったが、作業ができそうにないので、シイタケの様子を見に行った。シイタケランドでは、雨が続いたこともあり、たくさんのシイタケが上がっていた。

その後、モリメイト副代表選挙を行い、木谷さんに決まった。雨がやまないのを弁当を食べて解散。



「シイタケ菌打ち体験」に参加され、森林公園の「シイタケランド」にホダ木を置いておられる方、様子を見に来てください。来られたら事務所に声をかけてください。